

## 令和7年度 厚生労働科学研究費補助金（一次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
政策科学推進研究事業 (AA)	将来の人口動態等を踏まえ、外来医療、在宅医療等の医療資源の多寡の地域性に着目し、地域単位の医療資源の最適化を通じた地域づくりに資する研究 (AA-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機能別医療提供体制の需要推計(職種別を含む)を含む地域単位のデータ集を作成する。</li> <li>○地域単位のデータ集を地域において活用するため、データの加工を含む活用方法に関するマニュアル等を作成する。</li> <li>○地域の在宅医療・介護に関わる各職種(医師、薬剤師、看護師等)、居住形態や都市機能に関わる各職種(学識者、民間、行政等)等との意見交換を通じた、地域単位のデータ集と実態の乖離に関する分析を行う。</li> <li>○第9次医療計画策定のための基礎資料、地域の医療提供体制を踏まえたコミュニティ形成や都市機能の検討にも資する基礎資料を作成する。</li> <li>○住民に対する地域単位のデータ集の周知資料を作成する。</li> </ul>	20,000	1	3
統計情報総合研究事業 (AB)	我が国における ICD-11 によるコーディングの普及・教育に資する研究 (AB-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICD-11 に関する WHO および各国の適用準備の情報を整理した資料を作成すること。</li> <li>・ 臨床・研究を含む、特に医療現場で診療情報を扱う様々な立場の利用者が学びやすい教材を開発し、その教材を用いた教育研修の実施・評価を行うこと。</li> <li>・ ICD-11 のコーディングについて利用者が継続してスキルアップできる段階的教育カリキュラムと指導者育成の枠組みを開発すること。</li> </ul>	6,000	1	3
統計情報総合研究事業 (AB)	International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF、国際生活機能分類)の多様な現場での実用化と統計への応用に向けた研究 (AB-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わが国で開発された ICF 評価セット、教育ツール等について国内の医療・介護現場における普及のための方策を提案すること。</li> <li>・ ICF のわが国における疾病統計への応用について、実際のデータを用いた検証結果を基に、生活機能改善に資する方策を提案すること。</li> <li>・ WHO を含めた国際社会にわが国の ICF 活用による保健向上の成果を発信するとともに、ICF 全般に関する最新の国際動向について情報収集(国内外のマスメディア反応を含む)を行うこと。</li> <li>・ 上記の成果物のエビデンスレベル(評価セット等の信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)</li> </ul>	5,500	1	2

	介護サービス施設・事業所調査の統計精度向上に資する調査研究 (AB-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス施設・事業所調査のオンライン回答に係る回収率向上の対策を行うに当たっての主な方法と業務負担量・手順など、実務上参考となる事項の検証及び評価</li> <li>介護サービス施設・事業所調査の欠損値を補正するデータの活用を行うに当たっての主な統計的手法・手順や利用上の注意など、実務上参考となる事項の検証及び評価</li> </ul> <p>上記を踏まえ、介護サービス施設・事業所調査のオンライン回答に係る回収率向上及び欠損値を補正するデータの活用及び統計的手法の改善に向けた提言を行う。</p>	3,500	1	1
--	--------------------------------------	---	-------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業 (AC)	ICT・AI技術等を活用した看護師等国家試験問題作問システムの検討とその実装に向けた研究 (AC-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作問過程を支援する作問システムの実装に向けて、保健師・助産師・看護師国家試験の各科目において単純想起型の問題を中心に、作問システムを用いた問題作成を行い、問題の妥当性や信頼性等を評価する。また、実際に試験委員会で作問システムを用いた作問を行い、作問システム活用の課題を明らかにする。</li> <li>AIに学習させるデータの量や質の検討による学習データの整備を行い、作問システムの実装に向けた性能の向上を行う。</li> <li>問題作成の効率化や負担軽減、また、試験委員によって作成された問題の質の安定化のため、試験委員会において作成された問題の適切性や習熟度、問題構成、出題形式等の妥当性の検討をICT・AI技術等を活用して支援するシステムの構築を行う。</li> <li>国内の他資格・分野等の資格試験および諸外国資格試験の作問過程におけるICT・AI技術等の活用状況や課題等を整理し、看護師等国家試験の作問システムの実装に向けたプロセス等の検討を行う。また、作問システムの実装にあたり作問にICT・AI技術等を活用する場合の機密情報の取り扱いについても、諸外国、他資格でどのような対策が行われているのかを整理する。</li> </ul> <p>以上を踏まえて、国家試験における今後のコンピュータ活用も踏まえた問題作成の支援と効率化に向けて、実効性と目的に合致したICT・AI技術等の活用策を選択するための具体的な提案を行う。</p>	15,000	1	3
	次世代医療基盤法に基づく匿名加工医療情報とNDBの連結解析を活用したリアルワールドデータを用いた医薬品の製造販売後調査等におけるデータ信頼性及び実行可能性の研究 (AC-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>NDBと次世代医療基盤法DBについてデータ抽出申請を行い、それぞれの抽出データの連結に着手し、データ連結における、操作性や所要時間等も含めた課題や解決策を整理する。</li> <li>各DBの格納項目を踏まえ、利用可能なアウトカムを検討した上で、当該アウトカムが有効性、安全性の関心事となり得る医薬品を複数選定し、該当医薬品の曝露とアウトカムの関係を試行的に検討し、実施上の課題を整理する。</li> <li>連結DBについて、NDBと次世代医用基盤法DBに共通する項目の比較等により、DBの信頼性に係る説明方法を検討する際の課題や留意点を整理する。</li> <li>上記を踏まえ、医薬品の製造販売後調査等に当該データを活用する際の指針を検討する際の検討にあたっての基礎資料を作成する。</li> </ul>	15,000	1	3
	医薬品等を特定するための符号を介した植込み医療機器等のトレーサビリティ向上を推進するための研究 (AC-3)	<p>複数分野に亘る植込み医療機器 (心臓ペースメーカー等) に付与された標準バーコードからマスタDBを介して、植込みに係る情報を、医療機関側で電子カルテ等に正確に記録するとともに、当該情報をPHR (複数のサービスを対象とする) と連携させた上で、患者の活用状況を調査するパイロットスタディを実施し、この取り組みを均霑化するための課題を整理し、解決策を提言する。</p>	30,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業 (BA)	2023年G7長崎保健大臣会合の成果を踏まえた国際保健課題の取組の促進に資する研究(BA-1)	2023年のG7長崎保健大臣会合の成果を踏まえ、今後日本が国際保健分野で推進すべき取組を同定し、その方策について提案する。特に、G7として世界全体のUHC達成へさらに貢献していくための方向性をまとめた「G7 Global Plan for UHC Action Agenda」に沿って、日本が世界にリードして取り組むべき分野を検討するとともに、厚生労働省が策定する国際保健に関する戦略とも連携をさせつつ、日本が次にG7議長国となる2030年に向けて、今後のG7をはじめとした国際会議場での議論の方向性と日本の取るべきスタンスについて提案する。	5,000	1	3
	アジアをはじめとした発展途上国における高齢化対応も含んだUHC達成を推進する施策や制度の提言に資する研究(BA-2)	諸外国における介護サービスを含む保健医療サービスの提供とそれを可能にする保健医療財政の強化に資する途上国向けの具体的な施策や制度をまとめる。本課題で明らかとなった途上国が取り組むべき具体的な施策や制度を通じて、世界のUHCの更なる推進が期待される。また、関連の国際会議や、我が国が主催する保健に関する国際会議において、日本政府への技術的支援が行われる。	5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん政策研究事業 (EA)	がん診療連携拠点病院等の整備のための評価指標を用いたがん診療の評価に資する研究(EA-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療連携拠点病院等の医療の質の適切な評価に係る先行研究で提案された、各種評価指標や評価方法の、現場の実情や新たなデータに基づく改定案の作成。</li> <li>・がん診療連携拠点病院等の整備のための評価指標や評価方法を用いた、がん診療連携拠点病院等の診療実態の評価結果を取り纏めた報告書の作成。</li> <li>・がん診療連携拠点病院等の整備のための評価指標や評価方法を用いた評価結果を取り纏めた報告書や、「がん診療提供体制のあり方検討会」および「がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ」の議論を踏まえた、次期整備指針改定に向けた提言。</li> </ul>	10,000	1	3
	がん病理診断の質と体制整備の向上を通じたがん診療の最適化に資する研究(EA-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療の最適化に資する病理診断を目的とした遺伝子関連検査の運用指針の策定</li> <li>・がん遺伝子パネル検査等既存の検査提供体制を考慮した、病理診断を目的とした遺伝子関連検査の臨床的位置づけの提言</li> </ul>	3,000	1	1

子宮頸がん検診におけるHPV検査単独法の精度管理体制の評価及び改善に資する研究(EA-3)	R6より指針に導入されたHPV検査単独法による子宮頸がん検診を実施する市町村における ・運用面、精度管理面の状況把握と課題抽出 ・適切な精度管理指標の検討 ・課題に対する改善策の検討と提示 ・好事例の横展開のための資料開発	10,000	1	3
がん検診の精度向上に資する研究(EA-4)	・住民検診における精度管理水準のさらなる向上のための提案 ・職域検診における精度管理指標に関する科学的根拠の創出 ・職域検診における精度管理手法及びデータ把握法の開発	10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
	日常生活における歩数と運動習慣者の増加を目指した「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」の活用を推進するための研究(FA-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本ガイドの普及率・活用率・課題に関する調査結果</li> <li>・本ガイドによる介入の有無による歩数・運動習慣への効果の検証結果</li> <li>・本ガイドによる介入の継続率の評価結果</li> <li>・歩数の増加や運動習慣者の増加に繋がった要因の抽出</li> <li>・健康日本21(第三次)における身体活動・運動領域の目標達成へ向けた、ウェアラブルデバイス等の活用法の検討(社会的に一定程度普及が認められている既存ツールに関する情報の整理を想定する。新たなアプリやツール開発は想定しない。)</li> <li>・上記で得られた情報をまとめた、健康日本21(第三次)推進専門員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論の土台となる資料案</li> </ul>	5,000	1	3
	自治体における生活習慣病の予防・健康づくりの取組を進めるために必要な「健康に関心が薄い層」への介入方法に関する研究(FA-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献レビュー等を実施し、健康課題別に「健康関心度」に影響する要因や特徴、自治体による有効な介入方法を明らかにし、整理する。具体的には、健康日本21(第三次)の目標項目である、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、飲酒、喫煙等の健康課題に関して、課題別に、関心度の違いに応じた介入方法を整理する。特に「健康に関心が薄い層」への介入方法については、健康課の所掌する健康増進施策において提案できる介入方法として一覧にまとめ、整理する。</li> <li>・自治体の規模や背景等に配慮した現場での実証を行い、「健康に関心が薄い層」に対する介入方法の効果を検討する</li> <li>・上記で行った「健康に関心が薄い層」に関する状況・要因分析等、研究結果をまとめ、健康日本21(第三次)推進専門員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論の土台となる資料案を作成する。</li> </ul>	5,000	1	3

<p>受動喫煙対策等たばこ対策のエビデンス構築のための研究 (FA-3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MPOWER 施策パッケージに関する科学的根拠の収集・分析を行う。</li> <li>・ 日本及び海外のMPOWERの評価に係る指標の収集・分析を行う。</li> <li>・ 健康日本21(第三次)推進専門委員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論のため、健康日本21(第三次)において喫煙・COPD領域で目標とされている指標の現状の評価、対策すべき推進の方向性等を、健康日本21(第三次)に係る研究班と適切な連携を図った上で提示する。</li> <li>・ 改正健康増進法において新たに対象となった第1種施設や喫煙専用室等の類型についての施行後の状況や、受動喫煙防止に関する国民の意識及び既存特定飲食提供施設における受動喫煙を防止するための取組の状況等を、アンケート調査、訪問調査等によって得たデータとして提示し、分析・評価を行う。</li> <li>・ たばこ規制枠組条約締約国会議へのインパクト・アセスメント結果の報告案の策定を行う。</li> </ul>	<p>8,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>健康日本21(第三次)に資する、加熱式たばこ及びCOPDに関するエビデンスの創出を目指した研究 (FA-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期間の喫煙が影響するといわれている、ACO(喘息とCOPDを合併した病態 (Asthma and COPD overlap))を含む COPD 患者についての、禁煙者、紙巻たばこ喫煙者、加熱式たばこ喫煙者、併用者における経年的な肺機能評価。</li> <li>・ 生活習慣病などの交絡因子の影響を除外した、問診や6分間歩行試験などの運動負荷試験を用いた、身体活動性の評価。</li> <li>・ COPD 及び喫煙行動以外で身体活動性低下に影響を与える生活習慣などの要因(ライフスタイルを含む)の分析、及び具体的な介入策の提案。</li> <li>・ 本研究や他の加熱式たばことCOPDに関する研究結果に基づき、健康日本21(第三次)推進専門委員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論の土台となる資料案作成に協力すること。</li> </ul>	<p>10,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>

	<p>健康寿命の延伸及び健康格差の縮小に影響を与える要因の解明のための研究(FA-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康日本21(第三次)で領域・目標として設定されている生活習慣や生活習慣病の状況、社会環境の質等を中心として、健康寿命及び健康格差に影響を与える要因に関する最新のエビデンスに関して、システマティックレビューを行うこと。</li> <li>上記のエビデンスレビュー等を元に、健康日本21(第三次)で目標として設定されている生活習慣や生活習慣病の状況ならびに社会環境の質等がそれぞれ、健康寿命に影響を与える程度を明らかにすること。</li> <li>上記検討にあたっては、健康日本21(第三次)で新たに取り入れたライフコースアプローチの観点も踏まえ、各ライフステージにおける要因を検討すること。</li> <li>健康寿命の算出には複数の算出方法があるが、健康日本21(第三次)の目標となっている「日常生活に制限のない期間の平均」を用いた検討を行うこと。</li> <li>健康寿命及び関連する主要な生活習慣、生活習慣病等の地域格差(都道府県単位より詳細な地域(市町村別等))、社会経済的要因による格差を把握するためのデータ収集及び評価方法の検討を行うこと。</li> <li>健康寿命に影響を与える生活習慣、地域差等の要因分析の結果を用いて、介入による健康寿命延伸の推計を行い、国及び自治体の健康増進部局が健康日本21(第三次)の推進において健康寿命延伸及び健康格差縮小のために取り組むべき具体的な健康増進施策の提案を行うこと。</li> <li>上記で行った健康寿命の延伸に関する状況・要因分析や、健康格差に関する分析等の研究結果をまとめ、健康日本21(第三次)推進専門委員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論の土台となる資料案を作成すること。</li> </ul>	7,000	1	3
<p>循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(FA)</p>	<p>生活習慣病の業種間格差・地域間格差の分析および格差解消対策の立案のための研究(FA-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康日本21(第三次)で領域・目標として設定されている生活習慣病や生活習慣等の状況を中心に、業種別(農林水産業、製造業、サービス業等)、地域別(農村地域と都市部等)の健康格差に関する最新のエビデンスレビューを行う。</li> <li>全国における、業種別、地域別の生活習慣病(糖尿病、高血圧、脂質異常症等)の罹患状況や、生活習慣病の重症化による社会的影響の格差について、職域保険や地域保険等のデータや、先行して実施されている研究で得られた予防施策の経済影響等を用いて推計・分析し、業種毎、地域毎の特徴を把握する。</li> <li>上記の分析で得られた知見に基づいて、健康日本21(第三次)で推進すべき、産業間格差・地域間格差の解消に資する効果的な生活習慣病対策を提案する。</li> <li>上記で行った健康格差に関する状況分析・評価をまとめ、健康日本21(第三次)推進専門委員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論の土台となる資料案を作成する。</li> </ul>	6,000	1	3
	<p>健康日本21(第三次)の推進を目的とした、アルコール健康障害への対策の推進に資する研究(FA-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒行動の実態調査を行い、①～④の結果を明らかにする。</li> <li>①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の背景等要因の詳細分析と評価。</li> <li>②飲酒に起因するアルコール健康障害に関するエビデンスの整理と創出。</li> <li>③飲酒による社会的影響の推計。</li> <li>④生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合を低減するために必要な健康増進施策の提言。</li> <li>上記で行った飲酒に関する状況・要因分析等、研究結果をまとめ、健康日本21(第三次)推進専門委員会で行われる健康日本21(第三次)の推進や中間評価のための議論の土台となる資料案を作成する。</li> </ul>	10,000	1	3

<p>セルフチェックツールを用いた眼科疾患スクリーニングの効果検証のための研究(FA-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフチェックツールの失明予防の効果の検証(国内外の論文等のシステマティックレビューの結果及びエビデンスレベルの提示)</li> <li>・セルフチェックツールの活用場面の検証や効果的な活用方法を検討</li> </ul>	5,000	1	2
<p>食事摂取基準の策定に資するヨウ素摂取量の実態把握のための研究(FA-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食の調理・調整方法とヨウ素摂取量の実態を把握するとともに、両者の関連に関するエビデンスを得る</li> </ul>	15,000	1	3
<p>エビデンスに基づいた特定保健指導の効果的な実施のための研究(FA-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導の次回見直しに向けて、特定保健指導対象者の内、どのような特性のある者に対してどのような保健指導を実施することが、腹囲2cm以上かつ体重2kg以上の減少の達成につながりやすいかについて、具体的な対象者像やそれに対応した保健指導の具体的な内容や方法の例を、保険者等が有する特定健康診査・特定保健指導などのデータの統計的分析の結果と、特定保健指導の実施内容(実施者の手技・手法等)に関する質的調査の結果の、両方のエビデンスに基づいて整理する。</li> <li>・上記で整理した特定保健指導の効果的な実施に向けて、保健指導の構成要素(アウトカム、プロセス等)を整理して、具体的取組を提案する。</li> </ul>	9,400	1	2
<p>小児期・若年期に発症する循環器病に対する診療体制の充実のための研究(FA-11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児期・若年期に発症する循環器病に対する診療体制に関する実態調査の結果</li> <li>・他領域の診療科間の連携についての、各地域の好事例の収集</li> <li>・小児期・若年期に発症する循環器病に対する診療体制の充実のための提言</li> </ul>	5,000	1	2

	<p>大規模レジストリ・大規模臨床試験の分析による合併症・併存症予防のための標準的糖尿病診療体制の構築のための研究 (FA-12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国規模の既存の大規模レジストリや大規模臨床試験の結果を用いて、我が国の糖尿病患者における薬剤使用、血糖コントロール状況などの治療状況、糖尿病の合併症や依存症の発症頻度等を把握し、年齢、体重、家族歴などの患者背景に着目した分析を行う。</li> <li>・ 使用薬剤(糖尿病薬のみならず、高血圧症や脂質異常症に対する薬剤についても検討することが望ましい)等の治療の状況と血糖コントロールの状況による合併症・併発症等の発生頻度を解析し、医療費推計のモデルを構築し、合併症・併存症等の治療の費用も考慮に入れた医療費の推計を行う。</li> <li>・ 上記の推計から、医療費適正化・診療の標準化の観点から、使用薬剤の選択、検査頻度等、診療アルゴリズムを提案し、ガイドラインの改訂等に資する成果及び具体的な提言を行う。</li> <li>・ 糖尿病診療におけるオンライン診療について、ガイドライン作成に資する具体的提案を行う。</li> <li>・ 上記を踏まえ、第9次医療計画における糖尿病の診療体制構築に資する提案を行い、検討会の議論のベースとなる資料案を作成する。</li> </ul>	10,000	1	3
	<p>「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第二次)」の推進及び進捗評価のための研究(FA-13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第二次)」における目標及び指標の設定、評価に当たっての考え方、現状、設定理由、目標値の根拠等を踏まえ、ベースライン値のデータソースとなる歯科疾患実態調査、厚生労働科学研究事業等の分析等を行う</li> <li>・ ベースライン値の提示や必要に応じた目標値の見直しなど、エビデンスに基づいた具体的提言を行う</li> <li>・ 上記の分析等に基づく歯科口腔保健の状況、地域格差等を踏まえ、歯・口腔の健康格差の縮小に向けて国及び地方公共団体が取り組むべき施策の提案を行う</li> </ul>	9,062	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
女性の健康の包括的支援政策研究事業 (FB)	性差に着目した、国民の健康づくりに寄与する包括的支援及び対策の確立に向けた研究 (FB-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更年期症状等の性差に由来する健康課題について、様々な属性やライフスタイルを踏まえ、症状の頻度や重症度、生活習慣との関係、予防要因や危険因子、更年期障害等の罹患状況、病態、日常生活に与える影響、対処・治療の手段等に関する国内外のエビデンスを収集・整理する。</li> <li>・ 更年期症状等の性差に由来する健康課題について、諸外国で実施されている政策に関する、情報収集・整理する。</li> <li>・ 更年期症状等の性差に由来する健康課題について、情報提供・普及啓発や支援・介入等の方策を検討し、対策等に活用可能な資料を作成する。</li> </ul>	7,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
-------	-------	---------	--------------	-----	---------

難治性疾患政策研究事業 (FC)	疾患別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究(FC-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国規模の疫学調査等による療養生活やライフステージに応じた生活状況(就学・就労・妊娠出産等)も含めた患者実態の把握。</li> <li>・関連学会との連携体制の構築及び関連学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成や改訂。</li> <li>・良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築。</li> <li>・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。</li> <li>・AMED 研究を含めた関連研究との連携。</li> <li>・関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発。</li> </ul>	4,500~5,500	7	2年
	領域別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究(FC-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連学会との連携体制の構築及び関連学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成や改訂。</li> <li>・良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築。</li> <li>・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。</li> <li>・指定難病患者データベース等の各種データベース構築への協力。</li> <li>・AMED研究を含めた関連研究との連携・とりまとめ。</li> <li>・国内外の診断・治療方法の開発状況及び国内の治療成績の改善状況の把握。</li> <li>・関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発。</li> <li>・療養生活やライフステージに応じた生活状況(就学・就労・妊娠出産等)も含めた患者実態の把握</li> </ul>	10,000 13,000~16,000 17,000	1 3 1	3年

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
腎疾患政策研究事業 (FD)	腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病(CKD)に対する地域における診療連携体制構築の推進に資する研究(FD-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎疾患対策検討会報告書に記載された評価指標例を収集すること等により、地域毎のCKDの診療実態を把握し、報告する。結果は各地域の自治体担当者や医療従事者が参考にできるよう、可能な限りホームページ等で公開すること、地域間での比較が可能な形にまとめることが望ましい。</li> <li>・一般市民や地域の医療従事者に向け、CKDの正しい知識および早期からの受診の重要性について啓発するための資料等の開発と普及に向けた取組を行う。特に、勤労世代等に対する新たなアプローチ方法を作成する。</li> <li>・医療機関間の紹介基準等の普及、腎臓専門医療機関とCKD診療に関するかかりつけ医機能を有する医療機関の連携強化に資する取組を行い、他の地域が参考にしやすいように取組の検証結果を報告書としてまとめる。</li> <li>・各地域における腎臓病療養指導士等のCKD診療に関する基本的な知識を有する医療スタッフの育成や活動の促進に資する資料を作成する。その際、スタッフの育成が難しいとされる腎臓専門医が少ないエリアにおける適切な育成・活動方法についても示す。育成状況について、経時的変化や地域間差がわかるようにできる限り定量的な形で結果を報告することが望ましい。</li> <li>・自治体担当者等と医療従事者の交流・意見交換、対策の好事例の横展開を目的とした成果報告会等を実施し、地域の腎疾患対策に協力する体制を構築する。</li> <li>・都道府県別人口比透析導入患者数やその推移等の指標を参考にして、導入患者が少ないもしくは減少している地域の背景因子についても分析し、CKD対策および診療連携体制の好事例を報告し公開することで、全国展開を目指す。加えて、透析導入患者数が多いもしくは増加している地域のそれぞれの背景因子の分析を行い、CKD対策および診療連携体制の現状と改善点について明確にし、現状に即した地域別の対策について、報告書としてまとめる。</li> </ul>	25,000	1課題程度	3年

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
免疫・アレルギー疾患政策研究事業 (FE)	移行期成人期における食物アレルギー診療の確立に資する研究(FE-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>移行期成人期の食物アレルギー患者に対するアレルギー診療科間連携の現状と課題の抽出、およびその対策をとりまとめ、アレルギー疾患医療提供体制整備事業の施策立案のための基礎資料作成</li> <li>食物アレルギー診療ガイドラインや手引き等において最新の知見を反映させた改訂</li> <li>都道府県アレルギー疾患医療拠点病院等における成人食物アレルギー患者の診療ニーズの把握と紹介基準等の医療提供体制整備に資する提案</li> </ul>	4,500	1	3
	アナフィラキシー発症予防および初動対応の質向上に資する研究(FE-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院内薬物アレルギー発症例に対するアレルギーを専門とする医師の役割をとりまとめた手引き</li> <li>一般国民向けのアナフィラキシーとその発症予防の啓発資材</li> <li>救急救命士および医療従事者向けアナフィラキシー対応の手引き</li> </ul>	4,800	1	3
	かかりつけ医と関節リウマチ専門医療機関の適切な連携の促進に資する研究(FE-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門医療機関と、かかりつけ医の間での関節リウマチ患者の紹介に関する実態調査結果</li> <li>発症から治療開始までの期間や専門医療機関とかかりつけ医での治療内容等の実態調査結果</li> <li>関節リウマチ診療ガイドライン2024に基づくかかりつけ医向け診療ガイドラインの作成</li> </ul>	4,500	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
移植医療基盤整備研究事業 (FF)	国内の移植医療推進10カ年戦略に関する研究(FF-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の研究成果を元に実施した移植医療対策の効果を検証し、今後の移植医療推進戦略策定の参考とする。必要に応じて過去の成果物をブラッシュアップする。</li> <li>今後5年間の臓器移植を必要とする臓器不全患者数・移植希望登録者数、ポテンシャルドナー数の予測数を元にロードマップを作成し、臓器提供施設、移植実施施設に対する必要な支援やそのタイミング等の戦略を策定・検証する。支援に資する資材を作成する。</li> </ul>	10,000	1	3
	医療Dx時代を考慮した骨髄バンクドナーのリテンションへ向けた取組および円滑な造血幹細胞移植医療提供体制の確立のための研究(FF-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで進めてきた若年ドナーのリテンション(自身がドナー登録している事を認識してもらうことで提供意思を持続させる働きかけ)のための取組の検証と改良</li> <li>デジタル化の観点から更なる実効力のある介入方法を検討、造血幹細胞提供体制の強化</li> <li>骨髄バンク事業や造血幹細胞移植拠点病院事業等の造血幹細胞移植医療提供体制に落とし込むための提言</li> </ul>	10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
慢性の痛み政策研究事業 (FG)	慢性の痛み患者への就労支援の推進に資する研究(FG-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性疼痛による就労不能を中心とした社会参加困難の実態と、社会復帰へ向けた課題の明確化。</li> <li>職種毎の痛みの慢性化の機序に着目した慢性疼痛予防マニュアルの開発。</li> <li>既存の就労支援マニュアル等と組み合わせた普及・活用・検証と修正による就労支援推進。</li> </ul>	10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
長寿科学政策研究事業 (GA)	訪問看護の質向上に向けた評価指標の標準化のための研究(GA-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問看護における既存の評価指標についての網羅的な把握と精査</li> <li>訪問看護の質向上につながるケア及びアウトカムとの因果関係についての検証</li> <li>関連学会や団体のコンセンサスに基づく評価指標の提示</li> <li>提示した評価指標の妥当性の検証</li> <li>評価指標の活用を周知するためのツールの作成</li> </ul>	8,000	1	2
	機械学習を用いた介護認定審査会の審査判定プロセス等を補助するシステムを開発するための研究(GA-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公平性及び透明性の観点からAIの活用方法を整理する。</li> <li>上記の活用方法も踏まえた上で、機械学習により介護認定審査会において、二次判定結果の参考となる判定を提供できるAIを開発する。</li> <li>開発したAIをモデル的に試用運用し、得られた結果を元にAIシステムを改良し、実用化を目指す。</li> </ul>	10,000	1	3
	僻地、中山間地域、小規模自治体を中心とした医療・介護連携に係る指標の検討に資する研究(GA-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>僻地、中山間地域、小規模自治体においても活用可能な医療・介護連携の評価のためのロジックモデルの策定</li> <li>ロジックモデルを踏まえ、第10期介護保険事業計画に向けた、地域の実情に応じた在宅医療・介護連携推進事業等に活用可能な評価指標及び評価方法等への提言(保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の評価指標案含む)</li> </ul>	7,000	1	3
	高齢者の自立支援・重度化防止に資する栄養ケア・マネジメントの推進に向けた低栄養状態の把握手法のための研究(GA-4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の低栄養の指標に関する国内外の文献レビューを踏まえた既存指標の整理</li> <li>介護報酬等に用いる栄養スクリーニング(低栄養リスク分類)の基準の作成及びその基準を用いた介護保険施設における検証</li> <li>介護保険施設等において新たな基準を適用する場合の活用手続きの作成</li> </ul>	7,000	1	3

	リハビリテーション・個別機能訓練・栄養・口腔の一体的取組に係る効果的なサービス提供のための指標及びその指標等の活用のための研究(GA-5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文献調査等により、リハ・栄養・口腔の一体的取組に関し、利用者に効果的にサービス提供する上で有用な指標を提案すること</li> <li>リハ・栄養・口腔の一体的取組やLIFEによるフィードバックの活用について、先進事例を収集すること(リハ・栄養・口腔の一体的取組については海外の状況も含む。)</li> <li>リハ・栄養・口腔の一体的取組におけるLIFEによるフィードバックやその活用状況の課題抽出と、それを踏まえたフィードバック改善案及びフィードバックを活用したPDCAサイクルについて提案すること</li> </ul>	4,000	1	2
--	---	--	-------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
認知症政策研究事業(GB)	独居認知症高齢者の権利利益の保護を推進するための調査研究(GB-1)	独居認知症高齢者への支援として必要な施策の取り組むべき方向性について、課題を抽出・検討し、自治体や関係機関向けガイドラインを作成し周知する。	26,000	1	3
	我が国における認知症観の変遷と課題把握のための調査研究(GB-2)	国民の認知症へのパブリックイメージやスティグマ、医療介護等の専門職の意識の変遷・変化を自治体や関係機関にもわかりやすい報告書等にとりまとめ、施策の方向性を提言する。	18,000	1	3
	認知症の人の介護家族等の実態把握のための調査研究(GB-3)	研究成果をとりまとめ政策提言を行うとともに、自治体や関係者向け手引き(「認知症介護家族への支援手引き」等)を作成する。	20,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
	療育手帳の交付判定及び知的障害に関する専門的な支援等に資する知的能力・適応行動の評価手法の開発のための研究(GC-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の自治体が広く活用することが可能な、知的能力・適応行動に関する簡便かつ効果的な評価手法の開発。</li> <li>評価手法による判定結果と必要とされる支援の内容との関係性に関する、実際のデータに基づいた検証の実施。</li> <li>評価手法の判定結果の専門的相談指導における効果的な活用方法についての整理。</li> <li>開発した評価手法の活用方法に関する研修の実施等。</li> </ul>	20,000	1	3
	精神科リハビリテーションの機能分化及び効果的かつ有効性の高い精神科医療を推進するための研究(GC-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科リハビリテーションに関する国内・海外の文献等のシステマティックレビューの結果に基づく精神科リハビリテーションの有効性、安全性等のエビデンスを示す資料の作成</li> <li>全国の精神科医療機関における精神科リハビリテーション(精神科デイ・ケアや外来診療での集団・個別の患者に対する精神科リハビリテーション等を含む)の院内及び各病棟における実施の詳細(対象、時間、場所、方法、内容等)に関する資料の作成</li> <li>多職種による精神科リハビリテーションの機能分化に関する提言</li> </ul>	10,000	1	2

障害者政策総合研究事業  
(GC)

<p>精神科医療機関における包括的支援マネジメントの普及に関する実態把握、及び精神保健医療福祉の効果的な連携方策の検討に資する研究(GC-3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在院者等の退院に向けた保健・医療・福祉等による支援内容及び体制等の明確化に資する資料の作成及び多職種介入の好事例収集</li> <li>・包括的支援マネジメント実践ガイドの更新</li> <li>・包括的支援マネジメントの推進に係る提言</li> </ul>	<p>10,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>医療観察法における円滑な社会復帰を促進するための連携等の方策を推進するための研究(GC-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な疾患や複雑事例、長期入院事例等でも円滑に社会復帰を促進するための課題整理及び方策の提案</li> <li>・通院処遇における多機関連携等、円滑な社会復帰を促進するための課題整理及び方策の提案</li> <li>・指定通院医療機関の適切な運用に資する課題整理及び方策の提案</li> <li>・上記を参考とした、医療観察法ガイドライン改定等に係る基礎資料の作成</li> </ul>	<p>13,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>精神保健医療福祉を取り巻く環境に係る中長期的な変化等を見据えた精神保健医療福祉提供体制の構築を推進するための研究(GC-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神病床の機能や提供されるべき医療の性質等についての整理(疫学的なデータの収集・分析を含む)</li> <li>・より良質な精神保健医療福祉提供体制の検討に資する基礎資料の作成</li> </ul>	<p>28,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>地域で安心して暮らせる精神保健福祉医療体制における入院医療の検討に資する研究(GC-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保護入院等が適応となる状態に関する具体的な実態の把握と課題の抽出</li> <li>・医療保護入院等に関する法学的な整理と課題の抽出</li> <li>・医療保護入院を含めた精神科医療における入院形態とその評価に関する国際比較</li> <li>・令和4年法改正の施行状況についての実態把握</li> <li>・日本が関わる様々な精神保健医療福祉に関する国際会議や各種報告等で必要となる現状と課題に関する基礎的データの提供</li> </ul>	<p>20,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>性嗜好障害等の治療に係る基礎資料の作成及び環境整備のための研究(GC-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性嗜好障害等の治療に係る統計データを含めた基礎資料の作成</li> <li>・性嗜好障害等の治療等の有効性、安全性等のエビデンスを示す資料の作成</li> <li>・性嗜好障害等の治療に関する周知資料の作成</li> </ul>	<p>14,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>思春期以降の発達障害や家族の多様なニーズに対する専門的な相談やプログラム開発にむけた研究(GC-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な相談やプログラム、機関連携の好事例集やガイドブックを作成する。</li> <li>・好事例のポイントを整理して、発達障害者支援センターへ専門的な相談やプログラム、機関連携の研修プログラムを作成する。</li> <li>・発達障害者支援センターへ専門的な相談やプログラム、機関連携のための研修を実装する。</li> </ul>	<p>10,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>自立訓練をより効果的に提供するための研究(GC-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SIMIにおいて効果のみられる項目と提供するプログラム等の支援内容との関連性を明らかにする。</li> <li>・令和4年度障害者総合福祉推進事業「自立訓練事業における標準的な支援プログラム及び評価指標の活用についての調査研究」において使用したSIMIによる評価マニュアルについて、改訂版の作成やより活用しやすくなる方策についての検討を行う。</li> <li>・訪問による機能訓練と生活訓練の効果及び課題とその解決の方向性について明らかにする。</li> <li>・これらを踏まえて自立訓練をより効果的に提供するための方策について、ツールの開発を含めて提案をする。</li> </ul>	<p>12,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>

<p>計画相談支援・障害児相談支援におけるケアマネジメントに係る業務及び記録の標準化についての研究(GC-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談支援・障害児相談支援におけるケアマネジメントに係る記録の標準化項目案を作成する。</li> <li>・ケアマネジメント業務に使用する標準様式の案を作成する(現在参考様式として使用されている様式の見直し等を行う)。</li> <li>※作成にあたっては、「サービス等利用計画の策定過程における相談支援専門員の思考や判断等の可視化及びアセスメント項目等の標準化のための研究(厚生労働科学研究(障害者政策総合研究事業)で実施中)」の結果も踏まえること。</li> </ul>	15,000	1	3
<p>強度行動障害者支援のための、広域的支援人材のネットワーク構築と広域の人材を活用した地域支援体制整備推進のための研究(GC-11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国に配置されている広域的支援人材による全国ネットワークを構築し、広域的支援人材のスキルアップに必要な研修内容や、ネットワークを活かした事例検討などについて具体的にまとめる。また、全国の広域的支援人材にアンケート等を実施し、集中的支援の実施に当たって必要なスキルや実施に当たっての課題等を収集・分析する。</li> <li>・都道府県において、広域的支援人材と中核的人材がネットワークを構築し、中核的人材のフォローアップやスキルアップの方法について、地域での好事例等の収集や中核的人材に対するアンケート等を通じて現状を分析し、効果的なフォローアップの方法について具体的にまとめる。</li> </ul>	12,000	1	3
<p>言語聴覚士等による人工内耳・補聴器装用者等に対する言語リハビリ等の遠隔医療の体制整備のための研究(GC-12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効性、安全性、費用対効果等の観点における、人工内耳のマッピング等を遠隔で実施する場合の、対面と比較した優位性や同等性に関する定量的評価(成人を中心)。</li> <li>・諸外国での人工内耳・補聴器装用者等に対する言語リハビリを含む遠隔医療の実施状況に関する情報収集。</li> <li>・人工内耳のマッピングや補聴器の調整等を遠隔で実施するための望ましい要件(言語聴覚士等を配置する専門医療機関側及び患者側の施設要件、言語聴覚士の専門性等)の整理。</li> </ul>	12,000	1	3
<p>就労系障害福祉サービスにおける新たな指標及び評価方法の開発のための研究(GC-13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援A型及びB型の役割、必要性、目指すべき方向、持続可能性について整理した上で、就労継続支援A型及びB型の提供する支援について適切に評価する方法等について検討し、次期報酬改定における報酬体系の見直し(A型におけるスコア表やB型の評価軸の検討等)や新たな類型等について検討するための基礎資料をまとめる。</li> <li>【令和7年度】</li> <li>・就労継続支援A型におけるスコア項目案及び各項目の具体的内容の作成</li> <li>・就労継続支援B型における新たな評価指標案及び各指標の具体的内容の作成</li> <li>【令和8年度】</li> <li>・研究結果を踏まえた就労継続支援A型及びB型の評価方法を試行し、評価方法の有効性及び活用の方向性、活用上の課題についてとりまとめる。</li> </ul>	14,000	1	2
<p>障害者支援施設や共同生活援助事業所等における高齢障害者への看取りマニュアルの実装に向けた研究(GC-14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り実践に向けたマニュアルの提供によって、看取り期における様々な選択肢を含めた意思決定支援や医療的ケアの実現等、現場の取組の推進を図る。</li> <li>・令和8年度診療報酬改定及び令和9年度障害福祉サービス報酬改定において、看取りに関する評価のあり方等の検討資料とする。</li> </ul>	12,000	1	2
<p>「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群」(ME/CFS)の病態解明と客観的診断法の確立に関する研究(GC-15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)に関して報告されている、血液、髄液/バイオマーカーや画像所見等、客観的診断法の確立に資するシーズやそのエビデンスなどの把握・とりまとめ。</li> </ul>	5,400	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	<p>成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化のための研究(HA-1)</p>	<p>・ 我が国において、感染症法に基づいて全数を把握するための医師の届出対象疾患となっている成人の侵襲性細菌感染症(侵襲性肺炎球菌、侵襲性インフルエンザ菌、侵襲性髄膜炎菌、劇症型溶血性レンサ球菌等)について、感染症サーベイランス体制の強化のため、下記に関する疾病及び病原体に関する詳細な評価等を行う。</p> <p>① 侵襲性肺炎球菌について 平成25年4月に小児に対する肺炎球菌感染症が、平成26年10月に高齢者に対する肺炎球菌感染症が定期接種対象疾患となっているが、予防接種の効果及び高齢者の肺炎球菌感染症の予防に使用するワクチン製剤のさらなる検討のため、血清型等の詳細を含む疾病動向の調査を実施する。また、肺炎球菌感染症に関する疫学情報を収集する。</p> <p>② 侵襲性インフルエンザ菌について 平成25年4月に小児に対するヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)感染症が定期接種対象疾患となったことから、成人における侵襲性インフルエンザ菌感染症に及ぼす影響について評価を実施するとともに、当該感染症が侵襲性感染症に至る病原性因子について探索する。</p> <p>③ 侵襲性髄膜炎菌について 疾病の特性として、集団感染を生じること、感染者が短時間で死亡等を含む重篤な病態に陥ることがあることから、報告された疾患の病原体の血清型や遺伝子情報等の詳細を評価し、症例の積極的疫学調査のための追加情報及び世界的な発生動向についての情報を収集する。</p> <p>④ 劇症型溶血性レンサ球菌について 疾病の特性として、感染者が短時間で死亡等を含む重篤な病態に陥ることがあること、近年の報告数が増加傾向にあることから、病原性因子等の細菌学的特徴について評価を行い、疾病の転帰及び感染の拡大の原因等についての知見を収集する。</p> <p>⑤ その他 その他の成人の侵襲性細菌感染症について、流行状況等に応じて、必要となる病原体に関する詳細な情報を収集する。</p>	13,000	1	3
<p>新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業(HA)</p>	<p>急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立及び疾患の普及啓発に資する臨床疫学研究(HA-2)</p>	<p>・ 急性弛緩性麻痺について、これまで関連が指摘されているエンテロウイルスD68等を含めた網羅的病原体検索に適切な検体を収集し、診断の質の向上を図るとともに、急性弛緩性麻痺、急性脳炎・脳症の原因を分子疫学的視点から明らかにする。</p> <p>・ 急性弛緩性麻痺の発生動向調査を解析し、実態把握を実施する。</p> <p>・ 急性弛緩性麻痺の病態を究明するとともに、追跡調査等により治療及び予後に関する実態を把握する。</p> <p>・ 全症例のポリオ検査を国立感染症研究所で実施することになったことに伴う、医療機関、保健所や地方衛生研究所への技術的支援を実施する。</p> <p>・ 急性弛緩性麻痺の病原体検査の扱いに関する現状と課題に関して医療機関、保健所、地方衛生研究所を対象とした調査を実施する。</p> <p>・ 急性弛緩性麻痺サーベイランス・診断・検査・治療に関する手引きを必要に応じて更新する。</p> <p>・ 急性弛緩性麻痺に関して、講習会や啓発媒体等を用いて医療従事者及び自治体関係者などへの普及啓発を図る。</p>	10,000	1	3

<p>診療所及び高齢者施設を対象とする効率的・効果的な薬剤耐性菌制御手法の確立のための研究(HA-3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外の医療現場で大きな問題となっている薬剤耐性菌に関し、国内外の疫学・感染対策・治療に関する最新の知見を踏まえ、診療所や高齢者施設等での薬剤耐性菌の検出状況、抗微生物薬の使用状況などに関する情報に医療現場から検出される薬剤耐性菌の解析結果を加えることによって薬剤耐性菌感染の制御を推進・強化する方策について、我が国全体の薬剤耐性菌対策のレベル向上に資する提言を行う。</li> <li>・ 薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン戦略5.2「薬剤耐性に関する普及啓発・教育、感染予防・管理、抗微生物剤の適正使用に関する研究の推進」に記載のある在宅医療及び高齢者施設での伝播経路に関する臨床疫学的解析を行う。</li> <li>・ 診療所及び高齢者施設における感染症診療及びサーベイランス体制の構築に向けた政策の提言を行う。</li> <li>・ 診療所及び高齢者施設の抗微生物薬適正使用の推進において、専門性を有する臨床検査技師及び薬剤師等の役割を明確するとともに、これらの職種がその施設の薬剤耐性対策に与える影響・効果を検討し、これを基に必要な提言を行う。</li> </ul> <p>薬剤耐性対策ガイドおよび上記の提言を基に、診療所及び高齢者施設でのモデル運用を実施し効果を確認する。また実施結果を踏まえた新たな提言を行う。</p>	<p>10,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>薬剤耐性(AMR)対策上有効な抗微生物薬の使用方法の最適化および有効性の維持に資する研究(HA-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外で利用可能な抗微生物薬について、臨床現場での使用状況および薬剤耐性への影響の度合い、供給不安等についての調査及び資料作成</li> <li>・ 抗微生物薬に対する最新の薬物動態学・薬力学(PK・PD)理論等に基づいて効果的に投与するための用法・用量設定の検討及び評価。</li> <li>・ 海外の抗微生物薬開発状況および利用状況について調査し、海外で推奨されていないものの、国内では保険適応されている薬剤の有効性や臨床における重要性の調査及び検証・評価。</li> <li>・ これらの成果を踏まえ、AMRIに関わる感染症治療における抗微生物薬の使用方法の最適化等について整理した資料の作成。</li> </ul>	<p>20,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
	<p>HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究(HB-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の検査体制の課題の抽出・解析、より効果的な検査体制のモデル構築、試行とその評価。</li> <li>・ 特にハイリスク行為が認められる集団に対する、具体的な受検行動につながるような、効果的な受検勧奨のモデル構築、試行とその評価。</li> <li>・ 利便性を生かした検査法のひとつとしての郵送検査に関する、保健所等での実施における診断精度の評価や検査結果の公表の手法、陽性時に適切な診断・治療につなげる上での課題の解明、及び対応策の提言。</li> <li>・ HIV自己検査の海外における知見の集積、それらを踏まえた、国内でのHIV自己検査を検討する上での課題の抽出。</li> <li>・ 以上の成果を踏まえた検査体制構築のための手引きの策定。</li> <li>・ 予防行動を含めた普及啓発、検査・相談体制の一貫した体制整備の地域モデルの構築、試行とその評価。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症といった他の感染症流行等による業務ひっ迫が生じた際の保健所等の検査体制についての課題の抽出、及び対応の検討。</li> </ul>	<p>60,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>

エイズ対策政策研究事業  
(HB)

<p>HIV感染血友病患者に対する悪性腫瘍スクリーニング法と非侵襲的治療法確立のための研究(HB-2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪性腫瘍スクリーニングの実施とスクリーニング法の確立。</li> <li>スクリーニングで得られたデータ分析に基づく、悪性腫瘍の早期発見に繋がる知見の創出(悪性腫瘍の高リスク患者を事前予測する方法の開発等)。</li> <li>重粒子線治療の実施、安全性と有効性に関するデータの蓄積、及び医療提供上の課題の抽出と、その解決に向けた提言。</li> <li>悪性腫瘍を合併したHIV感染者は治験等の最新治療の除外対象とされる等の問題を解決するための、非感染者と同等の治療を提供するための医療体制構築に向けた提言。</li> </ul>	<p>40,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>HIV感染者を含む血友病患者における心血管疾患や関連する病態に対する検査や治療の最適化に資する研究(HB-3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV感染者を含む血友病患者における血管障害及び有病率の推計、危険因子の同定。早期発見のための検査項目、検査方法等の検討、及び試行とその評価。</li> <li>心血管疾患等に対する薬物治療の実態把握と、治療薬選択の標準化に資する知見の集積。</li> <li>血管障害に関連して出現する症状や併存する病態の把握、これらの早期発見のための方法や必要な支援の把握。</li> <li>骨密度低下の出現率とリスク因子との関連の解析に基づく、早期発見につなげるための検査項目、検査方法等の抽出。</li> <li>以上の研究の成果を踏まえた、検査の有効性、妥当性等について整理した資料の作成。</li> <li>実施数の少ない新たな検査及び治療等に関する、個別の症例の検証を含めた有効性等に関する資料の作成。</li> </ul>	<p>15,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>HIV感染血友病患者の救急対応の課題解決のための研究(HB-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV感染者を含む血友病患者の緊急搬送の実態の把握。</li> <li>緊急時患者カード(患者の病気や診療状況についての情報を記載したカード)の認知向上における課題の抽出、及び有効な利用方法の患者や医療機関への周知、啓発。</li> <li>救急医療現場における患者の病歴の把握のため、医療従事者等により緊急時患者カードがより効果的に確認される方法や、当該カード以外にも緊急時に役立つ伝達手段の把握。</li> <li>止血機能異常症の治療経験のない医師が、救急医療現場で適切な治療を行えるようにするための診療ガイドやマニュアル等の作成、改訂。</li> <li>救急搬送先で必要な止血治療製剤を入手するうえでの課題の抽出。</li> </ul>	<p>15,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>在留外国人に対するHIV検査や医療提供の体制構築に資する研究(HB-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV検査を受ける外国人の社会的背景等を調査することによる実態把握と、それにより示唆される外国人の受検における課題の抽出。</li> <li>保健所等と連携した、在留外国人を対象とした多言語対応のHIV検査モデルの試行、有効性の評価。</li> <li>在留外国人が福祉サービスを利用する上での現状における課題の抽出。</li> <li>医療通訳者の育成と、育成した人材の活用方法の検討、その有効性の評価。</li> <li>在留外国人に対する、HIVに関する知識や検査情報を効果的に発信する手法の開発。</li> </ul>	<p>20,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>

	MSMや薬物使用者に対するHIV感染予防・薬物使用防止のための支援策・啓発活動の確立に向けた研究(HB-6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い地域のMSMを対象としたメンタルヘルスや性行動、基本的な社会的背景、経済力等に関するアンケート調査の実施、及びその分析結果を踏まえたHIV感染予防策の開発、試行及び効果の評価。</li> <li>薬物相談の専門機関(精神保健福祉センターなど)の職員、薬物使用の問題を抱えるMSM、HIV陽性等へのインタビュー調査を踏まえた薬物依存からの回復や薬物使用防止に効果的な支援策の開発、試行及び効果の評価。</li> <li>薬物使用の問題を抱えるMSMやHIV陽性者を支援する、HIV診療機関、支援機関、行政機関のネットワークと連携体制の構築に向けた提言。</li> </ul>	12,000	1	3
--	--	--	--------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
肝炎等克服政策研究事業(HC)	ウイルス性肝炎eliminationに向けた全国規模の実態把握及び将来推計のための疫学研究(HC-1)	<p>今後の肝炎総合対策に必要となる、地域の実情に応じたより細やかな政策の企画立案に資する精度の高い疫学データの作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肝炎ウイルス感染者数及び非ウイルス性肝炎患者数等の実態や将来推計、ウイルス感染後・排除後の長期経過と予後等についての疫学データ</li> <li>肝炎対策の効果とeliminationへの段階的達成予測結果、達成課題についての具体的疫学指標の予測と、都道府県別結果を考慮した疫学的課題の提示</li> <li>WHOのelimination goalの到達度評価</li> <li>HBV母子感染防止事業の検証結果と、B型肝炎の水平感染・垂直感染の実態等に関する全国規模の疫学研究データ</li> <li>記載事項のエビデンスレベル(評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)</li> </ul>	50,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)

<p>医療安全管理者の活動の質向上に向けた研究(IA-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理者と関係者の役割分担と連携の状況、医療安全管理者の継続学習の状況について、全国医療機関へのアンケート・ヒアリング等で把握する。</li> <li>・医療安全管理者の業務指針および養成指針の改定案を作成する。その内容には以下を含める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>-医療安全管理者が主体である業務、医療安全管理者が主体ではないが参画が求められる業務の整理</li> <li>-医療安全管理者と管理者に求められる連携</li> <li>-医療安全管理者が現場(部門の医療安全担当者、個々の医療従事者)に行うべき支援</li> <li>-現場に医療安全上の重要事項が認知・実践されるために必要な医療安全管理者の活動</li> <li>-現場において必要な調整・柔軟な適応が行われるために必要な医療安全管理者の活動</li> <li>-現場が改善活動に主体的に参画するために必要な医療安全管理者の活動</li> <li>-医療安全管理者に求められる継続学習</li> <li>-その他の医療安全管理者の活動の質向上に必要な事項</li> </ul> </li> </ul>	8,300	1	2
<p>診療所における医療安全活動の質向上に向けた研究(IA-2)</p>	<p>以下の①～⑥の全てを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 診療所における、医療安全に関する知見の入手・活用の現状を把握する。</li> <li>② 診療所における、医療安全に関する知見の入手・活用の促進・阻害要因を同定する。</li> <li>③ 診療所における、医療安全に関する知見の入手・活用モデルを提案する。</li> <li>④ 診療所での活用に資する提言・医療安全情報等を選定する。</li> <li>⑤ 診療所における、④の活用の現状を把握する。</li> <li>⑥ 診療所向けの医療安全の研修教材を作成する(内容に③④を含めること)。</li> </ol>	6,100	1	1
<p>医療機関における国等が発信した医療安全にかかる情報の活用促進に向けた研究(IA-3)</p>	<p>以下の①～⑨の全てを実施する。</p> <p>&lt;外部情報の活用について(医療機関側の要因の調査)&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 病院における外部情報の活用の現状を把握する。</li> <li>② 病院における外部情報活用の促進・阻害要因(病院側の要因)を同定する。</li> <li>③ 病院における外部情報の活用モデルを提案する。</li> </ol> <p>&lt;外部情報の活用について(外部情報側の要因の調査)&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 複数の外部情報(日本医療安全調査機構、日本医療機能評価機構からの発行物についてそれぞれ10以上選定する)について、活用による医療安全向上の効果を評価する。</li> <li>⑤ 病院の医療安全向上に寄与する外部情報の特徴を明らかにする。</li> </ol> <p>&lt;医療安全支援センターが行う情報提供・研修について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑥ 医療安全支援センターから医療機関への情報提供・研修の実施状況・内容を把握する。</li> <li>⑦ 医療安全支援センターの視点から、医療機関に情報提供・研修する優先順位の高い項目を同定する。</li> <li>⑧ 医療機関の視点から、医療安全支援センターからの情報提供・研修の内容として需要が高い項目を同定する。</li> <li>⑨ ⑦⑧を踏まえ、医療安全支援センターからの情報提供・研修の標準的な内容を示す。</li> </ol>	5,300	1	1

<p>地域におけるアクセシビリティの確保及び人口構造の変化への対応を踏まえた持続可能な医療提供体制を構築するための研究(IA-4)</p>	<p>本研究課題においては、以下の全ての成果を求めることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関機能(高齢者救急・在宅医療・高度医療・医師派遣・医育機能等)報告の検討に用いるエビデンスの整備</li> <li>・人口規模・医療需要・医療資源・アクセシビリティを考慮した、医療機関の整備・集約の検討に用いるデータの提示</li> <li>・アクセシビリティが適切に確保されている構想区域の事例の収集及び知見の整理</li> <li>・新たな地域医療構想策定ガイドラインの作成において活用可能な地域医療に関するNDBデータ等の分析結果</li> <li>・構想区域において地域医療構想を検討する際に活用可能な様式等の作成</li> </ul>	8,600	1	2
<p>第9次医療計画を見据えた持続可能な地域周産期医療体制構築に資する政策研究(IA-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児医療を担当する医師・看護師等及びNICU・GCUの現状把握及び適正な配置に係る検討と提言。</li> <li>・平時、災害時を含む周産期医療体制の確保に向けて各都道府県で行われている周産期協議会の現状、多くの機関の連携に係る好事例の把握。</li> <li>・上記及び、周産期医療の集約化・重点化に関する先行研究を踏まえた、第9次医療計画の策定に向けた課題の抽出とその解決に資する提言。</li> </ul>	5,760	1	2
<p>第9次医療計画を見据えた持続可能な地域小児医療体制構築に資する政策研究(IA-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第9次医療計画における小児医療体制について提言を行う。</li> <li>・働き方改革開始後の小児医療を担当する医師の現状を把握し、小児領域におけるタスクシフト・シェアについて好事例を横展開する。</li> <li>・各都道府県で策定された小児科医師確保計画の内容と効果を検証し、医師確保計画策定ガイドラインの改訂に有用な提言を行う。</li> <li>・平成21年度の厚労科研で作成された小児救急電話相談マニュアルの改訂を行う。</li> <li>・小児救急医療における外傷や重症患者の受入体制の現状を把握し、課題を抽出すると共に、解決策について検討する。</li> </ul>	5,400	1	3
<p>首都直下地震における医療提供体制の構築にかかる医療資源評価に資する研究(IA-7)</p>	<p>最新の首都直下地震の被害想定に基づき、以下の項目を成果として求めることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災都道府県別の医療提供の指揮系統及び医療ニーズの特徴の整理</li> <li>・必要DMAT数の推定値の算出</li> <li>・DMAT等の医療チームの投入計画の策定</li> <li>・広域医療搬送計画の更新案の作成</li> <li>・被災地内から被災地外への患者搬送フロー案の策定</li> <li>・医療機関が要するライフライン等のリソースの内容と量の推計</li> <li>・訓練における検証結果</li> </ul>	3,888	1	2

地域医療基盤開発推進研究事業(IA)

<p>地域における集中治療医療の適正な体制確立のための研究(IA-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各医療機関、各地域における集中治療の提供体制をそれぞれの特性に応じて類型化して示す。</li> <li>救急医療、周産期医療や新興感染症医療等において、集中治療医療と特に密接に関わる領域を明らかにし、それぞれの領域と集中治療医療との関係性を示す。</li> <li>地域において集中治療医療を提供する医師の実態及び適正な配置を、将来の人口構造の変化や、地域ごとの特性を踏まえて類型化して整理し、議論に資する資料を作成する。</li> <li>医師少数区域における遠隔集中治療支援の有用性を検証する。</li> </ul>	5,000	1	3
<p>診療所における感染症まん延時に関する事業継続計画(BCP)構築に向けた研究(IA-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療所等の小規模医療機関に向けた新型コロナウイルス感染症の知見も踏まえたBCP策定のためのガイドライン案を策定する。</li> <li>策定したガイドライン案を実際に活用し、BCPを策定した医療機関に対するヒアリング調査を行い、ガイドライン案の見直しを行う。</li> </ul>	2,000	1	2
<p>放射線診療の発展に対応する放射線防護の基準策定のための研究(IA-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規の放射性医薬品・診療機器の使用に際して遵守すべき退出基準や適正使用マニュアル等の作成。</li> <li>新たなカテゴリーの放射性医薬品・医療機器について、国内で使用可能とするため、放射性同位元素等規制法をはじめとする他法令との規制の合理化や安全管理基準等の提言。</li> <li>医療法施行規則や関係通知の見直しが必要なものの抽出や新たな規制体系に関する提言。</li> </ul>	4,500	1	3
<p>検体検査の精度の確保等についての課題解決に向けた研究(IA-11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の医療法や臨検法における検体検査の質の確保について検証し、検体検査の質の確保の優先度も含め、具体的かつ実現可能な提言を行う。</li> </ul>	3,500	1	2
<p>長時間労働の医師への健康確保措置に関するマニュアルの改訂のための研究(IA-12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠負債の状況を評価する質問紙のスコアの妥当性を明らかにし、必要に応じて質問紙を更新する。</li> <li>日本人医師の睡眠負債とバーンアウト等心身の健康リスクの関連を明らかにする。</li> <li>上記に加えて、諸外国の最新の知見を反映し、「長時間労働医師への健康確保措置に関するマニュアル(改訂版)」を更新したマニュアルを提案する。</li> </ul>	4,200	1	3

<p>諸外国における歯科医療提供体制と歯科保健医療に関わる職種の業務の実態把握のための研究(IA-13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸外国の歯科医療提供体制(歯科保健医療に関わる制度・法令やその内容、歯科保健医療に関わる統計データ等)及び歯科保健医療に関わる職種の状況や業務内容(法的な位置づけを含む)について調査を行う。</li> <li>・ 歯科医療提供体制及び歯科保健医療に関わる職種の業務について、諸外国と我が国の状況を比較し、検討する。</li> </ul>	3,427	1	2
<p>小規模医療機関等における特定行為研修修了者の有効活用に影響する要因の解明のための調査研究(IA-14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査の実施及び分析を行い、その結果を踏まえて、令和3年度に作成した「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」の小規模医療機関・介護施設及び在宅版(好事例を含む)を提案する。</li> </ul>	9,200	1	2
<p>電子カルテ情報等の二次利用推進のための研究(IA-15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子カルテのテキスト情報等を有効に二次利用するための生成AI等を活用した効率的な手法やその実用性について検討し、国で今後開発する電子カルテ情報データベース(仮称)で収集すべき情報や情報の加工方法、情報連携基盤で実装すべき機能をエキスパートオピニオン、文献調査、市場・技術動向、その他技術的検討等を踏まえ提案する。</li> <li>・ 上記検討に基づき、基盤のユースケース、基盤に組み込む形で生成AI等を用いる場合の方向性、活用推進・規制に係るガバナンスの考え方についてエキスパートオピニオン、文献調査、市場・技術動向、その他技術的検討等を踏まえ提案する。</li> <li>・ 提案に当たっては、 - 次世代医療基盤法の運用実態等を踏まえ、情報セキュリティを確保しつつ外部計算資源を活用する生成AIの活用の方向性についても検討を行うこと。</li> <li>- また、ガードレール技術等、機微情報を用いて学習した生成AIの取り扱いの方向性について、技術的、法的両面から検討を行うこと。</li> </ul>	7,000	1	2
<p>医療DX施策を進めるための、生成AIの活用による医療現場の課題解決の方策の検討のための研究(IA-16)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療DXの政策で進められる医療現場の標準規格化、文書作成などの各医療場面における課題に対し、生成AIを用いた解決方法の提案をすること。</li> <li>・ 試験的な実装を通して、制度面等の課題整理・対応策の検討を行い、課題解決に向けた提案をすること。</li> </ul>	8,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
労働安全衛生総合研究事業 (JA)	協働ロボットの安全確保等のための研究(JA-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働ロボットの国内事業場での活用状況、協働ロボットの運転中等の危険の防止に関連する最新の技術動向、国際規格、海外の規制等について調査を行い、協働ロボットの規制の将来の在り方に係る提案を取りまとめる。協働ロボットの活用状況の調査に当たっては、ロボットメーカー及びロボットのユーザーにおける「機能安全による機械等に係る安全確保に関する技術上の指針」(平成28年厚生労働省告示第353号)や、同指針に基づく「機能安全活用実践マニュアル ロボットシステム編」(平成29年度厚生労働省)の活用状況を調査すること。</li> </ul>	4,300	1	3
	諸外国の産業保健制度の動向調査及び分析研究(JA-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国における労働者の健康確保に対する政府の基本的考え方、健康確保制度の具体的内容や手法(産業医、衛生管理体制、健診、ストレスチェック等)、今日のわが国の制度における課題、他国と比べ優れた点や見直しの動向等に関する資料。</li> <li>調査対象には以下の国を含むこと アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ</li> </ul>	9,600	1	3
	個人事業者等の健康管理に関する実態把握に資する研究(JA-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインに基づく措置の実施状況を把握するとともに、個人事業者等の健康管理に資すると考えられる取組について、事例を収集し、以下の観点から分析する。</li> <li>注文者、個人事業者、関係団体等における取組の実施状況</li> <li>取組の特徴、具体的な実施例</li> <li>取組の実施体制</li> <li>取組の効果</li> <li>今後施策として展開する場合の留意事項</li> </ul>	12,000	1	2
	労働者の健康の保持増進に向けた歯科口腔保健対策に関する研究(JA-4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業場における労働者の健康保持増進のための指針(昭和63年指針公示第1号)に基づく、「歯と口の健康づくりに向けた口腔保健指導」を経て、適切に歯科受診につなげるための方策を提示する。</li> <li>有害業務従事者への歯科健診及びリスクアセスメント健診を適切に実施できるよう事業者及び歯科医師への普及啓発の方策を提示する。</li> </ul>	2,400	1	3
	法学的視点から見たAIの活用に伴う現場管理上の課題と現状の労働安全衛生法の法令上の課題に係る調査研究(JA-5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI活用による現場管理及び安全衛生管理活動(産業保健活動を含む。以下同じ。)における予測される効果、課題の抽出、及び現行の労働安全衛生法適用上の課題のとりまとめ</li> <li>AIを活用した現場管理及び安全衛生管理活動に求められる技術水準と事業者等によるAI活用要件の提示</li> <li>AIを活用した場合の事業者責任も含めた責任分担の整理</li> <li>業種別の職場でのAI活用の実態を示す一覧表、及び用いられているAIの信頼性等(グレード)の分類表の提示</li> </ul>	13,049	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
食品の安全確保推進研究事業 (KA)	食品取扱現場における効果的なウイルス汚染対策の策定のための研究(KA-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品中のウイルスの検査法等(特にノロウイルス)の高感度検出及び汎用性の開発により、汎用性の高い検査が可能となる。</li> <li>検査法の国際整合性がとれる。</li> <li>食品中ヒトロウイルス不活化条件の探索により、より食中毒の実態に即した汚染防止策を講じることができる。</li> </ul>	20,000	1	3
	ウエルシュ菌食中毒の制御ための検査法の開発及び汚染実態の把握のための研究(KA-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウエルシュ菌の汚染状況の実態把握。</li> <li>ウエルシュ菌の特性や食品中での挙動の把握、及びその効果的な制御方法の確立。</li> <li>検査法確立による原因食品等の迅速な把握、食中毒予防方策の提案。</li> </ul>	12,000	1	3
	いわゆる健康食品を介する健康被害の拡大・未然防止に係る危機管理体制の整備・充実のための研究(KA-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の健康被害情報等をもとに、いわゆる健康食品等に含有される化合物等によるリスク等の洗い出し。</li> <li>当該化合物等の特性を明らかにし、発生要因等の解明。</li> <li>当該情報の地方自治体関係部局への共有、同様の食品による健康被害の未然防止。</li> </ul>	20,000	1	3
	食肉・食鳥肉の検査等を効率的・効果的に実施するためのデジタル技術を活用した手法の開発のための研究(KA-4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内及び海外におけると畜検査・食鳥検査の検査補助に係るデジタル技術の応用に係る実態把握。</li> <li>と畜検査におけるモデル事業の成果の地方自治体関係部局への共有。</li> <li>食鳥検査におけるモデル事業の成果の地方自治体関係部局への共有。</li> <li>食肉・食鳥肉の検査補助へのデジタル技術活用の可能性と実現性の評価。</li> </ul>	20,000	1	3
	食品安全行政の推進に資する研究分野における若手育成のための研究(KA-5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品安全に関する研究分野のうち、厚生労働省が行う食品衛生監視業務に係る技術開発及び科学に基づく食品衛生監視業務を含む、食品安全行政全般の推進に資する研究成果。</li> </ul>	15,000	5	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業(KC)	法規制薬物の分析と鑑別等の手法開発に向けた研究(KC-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違法薬物が検出される嫌疑がある物品については、毎年様々な形態の物品が生み出されているため、特に新規の物品について、迅速かつ精度が高い分析・鑑別法を得る。また、使用罪がある違法薬物については、生体試料中の薬物の検出法を検討し、分析・鑑別法となりうるか検証結果を得る。</li> <li>・大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法が改正され、大麻由来製品に微量に含有するTHCの残留限度値を定め、標準的な分析法を示したところであるが、様々な大麻由来製品に対してより汎用できる検出・鑑別する方法を確立するための知見を得る。</li> </ul>	4,800	1	3
	指定薬物の指定に係る試験法の妥当性評価に資する研究(KC-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幻覚作用を評価する試験法に関して、既存の試験法やこれまでの研究により提示された改良試験法について、比較評価を行い、妥当性を評価するとともに、必要な場合は更に検討・改良を行う。</li> <li>・指定薬物制度に対応し、薬事審議会指定薬物部会において指定薬物として指定する際の評価手法として活用するにあたって考えられる問題点を科学的に解決するとともに、データの取得や評価に際しての基本的な考え方として整理する。</li> </ul>	3,600	1	3
	体外診断用医薬品の市販後における性能担保のあり方に関する研究(KC-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国における体外診断用医薬品の市販後の性能を担保するための制度の整理</li> <li>・市販後の性能担保が必要な体外診断用医薬品の対象範囲の整理</li> <li>・上記2点を踏まえた市販後の性能担保をするためのガイダンス</li> </ul>	4,000	1	2
	再生医療等製品の不均質性に関する研究(KC-4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生医療等製品の「不均質性」を定義し、「不均質」と言える再生医療等製品について整理</li> <li>・再生医療等製品の条件期限付き承認制度における「不均質」の位置づけを再検討し、制度の在り方を提言</li> </ul>	4,500	1	3
	災害・緊急時における医療機器の薬事承認等に係る考え方の整理に関する研究(KC-5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・緊急時の医療機器の薬事承認審査における留意事項の提案</li> <li>・上記の対象となる医療機器の安全確保に向けた承認に当たっての要件の整理</li> <li>・災害・緊急時を想定した医療機器製造販売業者が提供すべき情報の整理</li> <li>・災害等の種類や程度に応じた医療機器の修理等に係る対策の整理</li> </ul>	4,000	1	2
	SUD (single-use device)再製造体制構築に資する社会への影響評価のための研究(KC-6)	<p>必要に応じて行政通知として発出できるよう以下の内容を提言等に取りまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R-SUDの普及による国民医療費削減等の経済効果</li> <li>・医療廃棄物の削減効果</li> <li>・患者安全確保に係るSUD不適正再使用の削減</li> </ul>	4,500	1	3

化粧品基準における規制物質の試験法の確立及び標準化に関する研究(KC-7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品基準の配合規制物質(配合禁止成分、配合制限成分等)における既報等の情報収集及び試験法の開発</li> <li>開発された試験法の公的試験法に資する標準試験法への整備のための評価</li> <li>妥当性が評価された開発試験法の標準化のための試験法案の作成</li> </ul>	2,400	1	3
薬局におけるPHRの活用等に関する研究(KC-8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の活用状況の調査、および国内におけるPHRの利活用に向けた課題抽出・検討</li> <li>薬学的管理・指導に資するPHRの整理</li> <li>薬局におけるPHRの活用のあり方の検討</li> </ul>	3,000	1	2
在宅医療における薬剤師の介入による効果等に関する研究(KC-9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療への薬剤師の介入による効果を定量的に評価する</li> <li>効果的な在宅医療への薬剤師の介入の在り方を整理する</li> </ul>	3,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
化学物質リスク研究事業(KD)	変異原性評価に係る動物試験代替法の開発のための研究(KD-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 変異原性評価に係る動物試験代替法の開発</li> <li>② 代替試験法のOECDTGへの提案</li> <li>③ OECDTG提案までの課題を整理した基礎資料のとりまとめ(②、③についてはいずれか)</li> </ul>	30,000	1	3
	定量的化学物質発がん性予測に向けたゲノム安全性評価の新規手法開発のための研究(KD-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>定量的化学物質発がん性予測に向けたゲノム安全性評価を開発し、基礎資料をとりまとめる</li> </ul>	35,000	1	3
	急性毒性試験の代替法の開発のための研究(KD-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3Rsに資する急性毒性試験の代替試験法及び評価法の開発</li> <li>② OECDTGへの反映</li> <li>③ OECDTG反映までの課題を整理した基礎資料のとりまとめ(②、③についてはいずれか)</li> </ul>	30,000	1	3
	毒物及び劇物取締法における劇物の指定にかかる基準の検討に資する研究(KD-4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 現行の劇物、及び劇物相当の毒性を有する化学物質に対し、一定以下の危険性・有害性であることを判断できる統一的な濃度の閾値を設定する。</li> <li>② 現行の劇物、及び劇物相当の毒性を有する化学物質に対し、一定以下の危険性・有害性であることを判断できる統一的な濃度の閾値の設定が困難であることを示す資料を作成する。</li> <li>①、②いずれかを成果とする。</li> </ul>	23,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
健康安全・危機管理対策総合研究事業 (LA)	「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」改定のための研究(LA-1)	最新の知見に基づいた「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」の改定案や、ガイドラインに関するエビデンスを示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)を作成することにより、災害時の避難所における健康管理に活用する。	5,000	1	1
	2040年以降において地域ケアシステムの機能を維持するための自治体保健師の保健活動の見直しに向けた研究(LA-2)	・自治体保健師が優先して対応すべき業務等を明らかにする。 ・保健師不在または保健師少数自治体において他職種連携を踏まえた新たな保健活動の手法・体制等(効率化・広域化等を含む)の事例及び留意点を示す。 ・「保健師活動指針」の改正(予定)を踏まえ、地域ケアシステムの機能等を維持するために、他職種連携を踏まえた新たな保健活動の効率的な手法・体制等を検討する際の基礎資料を収集する。	8,000	1	2
	2040年以降を見据えた自治体保健師の人材育成体制構築のための研究(LA-3)	・保健師活動指針改正(予定)を踏まえた人材育成体制構築を検討する。 ・新人看護職員研修ガイドライン(保健師編)及び「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会とりまとめ」の見直しの観点を提言する。 総合的なマネジメントを担う保健師等の育成に必要な要素を明らかにするとともに、健康危機に対応するための平時を含めた役割・体制・管内市町村等との連携について明らかにする。	8,000	1	2
	公衆浴場等におけるレジオネラ発生防止及び衛生管理推進のための研究(LA-4)	・国内外の文献、制度等に係るレビュー等の基礎資料 ・浴槽などの温浴設備や冷却塔設備に起因するレジオネラ属菌の移動経路(バイオエアロゾル拡散性状)の解明、及び冷却塔設備の構造・性能を含めた必要な対策の立案。 ・上記を踏まえた、科学的エビデンスに基づく現行の管理基準の見直し案、レジオネラ属菌の発生抑制策及びこれによる健康被害防止策の立案。	22,000	1	3
	建築物環境衛生管理基準等の検証及び今後の衛生管理の確立に向けた総合的研究(LA-5)	・現行の管理基準の検証等に係る基礎資料 ・国内外の文献、制度等に係るレビュー等の基礎資料 ・科学的エビデンスに基づく管理基準の見直し案及びその科学的エビデンス	12,000	1	3
	安置所等における衛生基準の確立に向けた実証研究(LA-6)	・前年度までの研究で作成される予定のガイドライン案の実行可能性の検証。 ・化学的、生物学的及び心理的側面などの多面的なアプローチによる、ご遺体を取り扱う関係者及び周辺環境における実態調査の実施、及び抽出された課題のとりまとめ。 ・国内外の規制内容及び学術文献等の収集及び整理。	7,000	1	2

	<p>CBRNEテロリズム等における公衆衛生危機対応能力の向上のための研究(LA-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界健康安全保障行動グループ会合(GHSAG)を含む、国内外のネットワークを通じて、CBRNEテロリズムに関する最新の知見を収集し、本邦で活用可能な資料として整理を行うことで、医薬品備蓄をはじめとする厚生労働省における既存の取組みの充実に資する。</li> <li>・ また、上記の知見をもとに、専門家会合の開催や、既存の医療従事者向けテロ対策支援ツールの拡張を行い、行政機関や医療機関における知識・技能を更新することで、これらの機関におけるCBRNEテロリズムに対する公衆衛生危機対応能力を向上する。</li> </ul>	7,200	1	3
--	---	---	-------	---	---